

昔おきなわ風景探索

沖縄県公文書館所蔵の写真と空中写真

1960年



地図を表示

Q. どこでしょうか？



(写真番号：046320 をカラー処理)

真嘉比市真嘉比部落浸水状況 .A

写真の背景中央部には、首里にあったテレビ塔と琉球大学、首里高校の建物が見えます。現在の那覇市の新都心付近ですが、近くには米軍関係者の住宅施設がありました。写真からもわかるように、新都心よりはもっと首里に近い位置にある真嘉比のようです。写真説明では「那覇市真嘉比部落の浸水状況」となっており、浸水状況の視察のようです。場所になじみがなければ、詳しい位置の特定は難しそうです。道路は現在モノレールが走っています。水路と背後の首里の風景、道路がヒントになります。

1962 年 10 月

表紙のQRコードで示された場所は、現在のおもろまち駅と古島駅との中間ぐらいの位置です。1962年10月25日撮影の空中写真でその付近を見えます。表紙の写真のおよその位置を赤矢印で示します。青矢印は、次頁の①の場所付近と思われます。背景に写っているのは紫矢印の首里高校が含まれているようです。緑矢印は松島中学校です。

(写真番号：AP621025A2_206, 208, 217を接合)



①米軍の住宅施設の間を流れる川
(写真番号：046321)



② 1945 年 1 月 3 日撮影の真嘉比付近
(資料コード：KS00000053 【ON12835 029-2】)



③ 1945 年 12 月 10 日撮影の真嘉比付近
(写真番号：AP451210A0_024)

写真①は、一連の写真ですが、川の下流側を撮影しています。米軍の住宅と川から場所を特定する助けになりました。②は米軍上陸前の1945年の1月写真に左頁の同じ場所を赤矢印で示しました。南から北に向かう道は軽便鉄道の軌道です。さらに同位置を③の1945年12月の写真に示しました。軌道は道路に変わっていきます。

表紙の写真はパノラマ撮影した一部のようなようです。つないでみると全体の様子がわかります。道路は、戦前の軽便鉄道の軌道跡にあることが空中写真からも分かります。写真の左側の丘は、現在の真嘉比中央公園、松島中学校付近のようです。右側には現在真嘉比小学校が建っています。

(写真番号：046318, 046319, 046320を接合)



前頁の矢印の位置を現在の地図（国土地理院）に落としてみました。米軍の住宅があった所は、現在的那覇市の新都心一帯になります。地図上の赤、青、紫、緑色の矢印は空中写真とほぼ同じ位置になります。大きく変貌したこともあって、場所の特定はGIS（地理情報システム）を使用していきます。緑丸の位置には、沖縄戦時の激戦地、シュガーローフ・ヒルがあります。



シュガーローフ・ヒル（1945年6月、場所：地図の緑丸付近）
（写真番号：92-13-1）

昔おきなわ風景探索 No. 3

発行日：令和6年（2024）10月25日

編集執筆：当山昌直（1951年生）

発行：（公財）沖縄県文化振興会 公文書管理課

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川148-3 沖縄県公文書館内

電話（代表）098-888-3875 FAX: 098-888-3879

増刷版 ※一部修正しました

沖縄県公文書館デジタルアーカイブ

アメリカ統治下にあった頃の写真や空中写真を公開しています。

